

【参考2】各作品概要

・測れる電柱（担当課：国民健康保険課）

生活習慣病の早期発見・予防・改善には、メタボリックシンドロームに着目した健診（特定健診）の受診が効果的である。佐賀県では、県民の受診率向上を目的として、日常生活の中で自然に健康意識を喚起する新たなアプローチを実施した。

メタボリックシンドロームの診断基準の一つである腹囲については、日常的に意識される機会が少ない。そこで本施策では、誰もが目にする「電柱」を媒体として活用し、健康への関心を引き出す広告を展開。

「この電柱よりも太いお腹はメタボかも？」というメッセージを掲示することで、通行人が思わず立ち止まり、自身の腹囲と比較したくなる仕掛けとし、これにより、腹囲への意識を喚起し、特定健診の受診につなげることを狙うもの。

- メタボリックシンドロームの判定基準
血圧、血糖、腹囲（男性 85cm 以上、女性 90cm 以上）など

- 掲示箇所
 - ・ 佐賀市（佐賀中央郵便局東側、サンライズパーク付近）
 - ・ 唐津市（唐津大手口バスセンター付近）
 - ・ 鳥栖市（鳥栖市本町）
 - ・ 嬉野市（嬉野温泉街）

計5か所



撮影箇所：佐賀中央郵便局東側

・歩かないと、忍び寄るもの。将棋盤広告（担当課：健康福祉政策課）

これまでは、歩くことのメリットを強調するなど、ポジティブなメッセージで「歩くライフスタイル」の定着を図ってきたが、引き続き糖尿病等のデータが全国でワーストであることを踏まえ、これまでとは趣向を変えた広報素材を制作。将棋の象徴的な駒「歩兵」を活かしつつ、「歩かない」と様々な病状を引き起こす可能性があることを示すクリエイティブ。

健康を守るための一手として、思わず足を止めてしまうフロア広告を県内2か所に掲出し、盤面を自分事として考えることによる「歩」の意識付けを図った。

①佐賀県庁1階県民ホール：令和7年5月26日～12月17日（H6000mm×W6000mm）



②JR佐賀駅改札口前：令和7年10月1日～11月30日（H4000mm×W4000mm）



・かくれんぼシール（担当課：健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室）

佐賀県では、女性特有のがん（子宮頸がん・乳がん）の罹患率が急増する、働き盛りや主婦層の20～40代の女性を対象に、女性のがん検診（子宮頸がん検診・乳がん検診）の受診率向上に取り組んでいる。

がん細胞の「かくれんぼ」をテーマに、がん検診でがんを見つけることの重要性を訴求するクリエイティブ。

子どもから保護者への呼びかけを狙い、県内小学校等の全児童（義務教育学校及び特別支援学校の小学部含む）へ配布し、シールで遊びながら、家族でがん検診について話し合うきっかけづくりを行った。

ぼくたち、
かくれんぼ好きな
がん細胞。

おうちの人はがん検診受けてるかな?

「ま〜だだよ〜!」と、
がんは隠れているかも。

日本人の2人に1人が、
一生のうちにがんにかかっています。
がんを自分で見つけるのはむずかしいから
がん検診に行くことが大切です。

20代から40代の女性がかかりやすい、
子宮頸がんと乳がん。
早く見つけて早く治療できれば、9割が治ります。

20歳からの子宮頸がん検診
40歳からの乳がん検診

おうちの人やまわりの人にも、声をかけてみてください。

おうちの方へ
佐賀県では、がんで亡くなる方を減らしていくために、
がん検診の大切さについて呼びかけています。
自分のために、周りの人のために、がん検診を受けましょう。

WEBで受診可能な
医療機関等が確認できます。
がんポータルさが 検索

対象	
乳がん検診	40歳以上の男女
大腸がん検診	胃がん検診
子宮頸がん検診	20歳以上の女性
乳がん検診	40歳以上の女性

※1 佐賀県がん登録事業報告書(2017-2021)
※2 検診が実施する一般的ながん検診の対象年齢です

1 健やかさがいちばん 佐賀県